

自治体職員向け
関東EPOローカルパートナーシップ
WEBミーティング

12/12 Tue.
18:00-20:00

トークテーマ

「これからの地域に、自治体って本当に必要？」

意見交換まとめ資料

2023.12.28 関東EPO

「これからの地域に、自治体って本当に必要？」

Answer
「**いない仕事もたくさんあるけど、やっぱり自治体は、ないとだめかも...**」

地域に暮らす人の生活（人権）を守る必要

国民（住民）の生活や活動・事業の保証

今はたしている機能は、地域住民の**生活全般**を守ること
福祉・ゴミ・インフラ...最低限の公共の仕事

WHY
地域社会を営んでいくために、必要なことがあるから

住民票や登記簿の公的書類を出す、信用の付与の役割
窓口&職員でなくてもできることは増えてる/増える

なぜ自治体ができただか？から考えてみる
誰かがやらないといけないといけないが特定の人がやらないことをやる・共済的なことをやる人達が必要だったから

住民同士の自治が希薄になってきている
自治体がないと困る人がいる

ほんとに必要な分からない業務多し
でもやらないと怒られる...

地域に関心がない人の存在
自分の要求しかない住民
住民自治の発想が育たない
でも、共感・満足されないものになっている

住民に関心を持たせる役割
ビジョン的なものを示す役割
地域のPRをする役割

自治体の気持ちの置き所
「まちづくり」ができる!と思えば、ポジティブな役割
どちらの気持ちも、入り乱れるのが現状?
なんでもかんでも行政というのはつらい...
誰もやらない仕事をやってると思うと気持ち上がらない...

➢ 「必要かどうか」を、どの時間軸で考えるか
➢ 地方か、都市部か、規模感によっても違う

結論；「これからの地域にも、おそらく自治体が担う機能は必要はず。」

- 人々が関わり合って、一つの地域で暮らしていくためには、私的なつながりだけでは社会は回らず、どうしても公的なルールや役割が必要になる、というところが自治体の出発点ではないか、という原点の確認ができ、それはこれからの在り方を考える上で重要ではないかと思い、センターに置きました。
- そこを出発点に、概ね以下の役割が話題になりました。
 - ①人権の保障→自治機能向上、生活保護
 - ②生活の安全→インフラ整備
 - ③地域づくりの指針をつくる→ビジョン、PR
 - ④人づくり→地域への関心喚起
 - ⑤地域の人や活動の保証→公的書類発行
- これらの役割は、部分的に技術などで代替できるものはあるとしても、不要になるイメージは今のところないというのが、概ねの結論だったかと思います。
- しかし、こうした業務の中には、「要らない仕事」、言い換えると、「なぜやっているのか分からない仕事」が多く潜んでいることも、浮き彫りになっていました。
- これまでのローカルパートナーシップ研修での議論にもあったように、前例踏襲で遂行することが目的化していたり、何のためにやるのかを考えずにスキーム通りに進めて策定した計画やPRなどが、「住民に共感されない」、「でもやらないと怒られる」という悪循環を生んでいそうな気配でした。
- また、「必要かどうか」を、どの時間軸で考えるか？という大事な問いもありました。これも研修でもたびたび話題に上がりますが、地域づくりやまちづくりは、「単年度」で成果が出るものではないことだけは確かです。10年、20年先のことなのか、それとも3世代先を考えるのか、時間の考え方も、今後の議論で取り入れていきたい視点です。
- 同様に、地方部なのか、都市部なのかによっても違うという視点も重要な指摘でした。一つの自治体の中にも、多様な地域があり、その地域ごとに考えていく必要があります。こちらも、実践の場面では重要な視点です。

今回のまとめから、関東EPOが掘り下げたい！と思った問いを、次のページに挿入しました。ぜひ、次回、皆さんとお話できればと思っています。

- 地域社会を営む上で必要な「インフラ」って何だろう？
- インフラの現状把握はできているのだろうか？

「インフラ」って何？

地域に暮らす人の生活（人権）を守る必要

今はたしている機能は、地域住民の**生活全般**を守ること

福祉・ゴミ・インフラ…最低限の公共の仕事

住民同士の自治が希薄になってきている

自治体がないと困る人がいる

- 住民同士の自治が希薄になってきているというのは、どういうところから分かる？それとも、誰かから聞いたこと？
- 「つながりの希薄化」だけが、自治力が低下している理由だろうか？

住民自治とはどういう状態？

どうして、人々は地域に関心がないのだろうか？

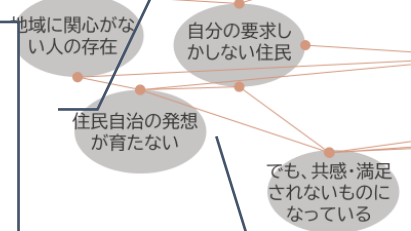
- どうして、「住民自治」の理想はかなわないのだろうか？

「これからの地域に、自治体って本当に必要？」

Answer
「いない仕事もたくさんあるけど、やっぱり自治体は、ないとだめかも…」

WHY
地域社会を営んでいくために、必要なことがあるから

なぜ自治体ができただか？から考えてみる
誰かがやらないといけないといけないが特定の人がやらないことをやる・共済的なことをやる人達が必要だったから



住民に関心を持たせる役割

ビジョ的なものを示す役割

地域のPRをする役割

- 「必要かどうか」を、どの時間軸で考えるか
- 地方か、都市部か、規模感によっても違う

- どうして、行政がつくるビジョンやPR施策は、共感されないものになってしまうのだろうか？

行政のブランディングはなぜウケない？

- どうして、行政は、地域をPRしないといけないのだろうか？
- 誰に向けて、何を、どうPRして、その結果、どうなることを目指しているのだろうか？

要らなくない仕事はどこにある？

国民動
住民票や登記簿の公的書類を出す、信用の付与の役割

窓口&職員でなくともできることは増えてる/増える

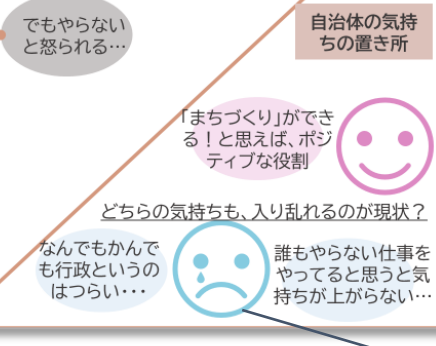
- 今の地域社会における、「誰かがやらないといけないけど、特定の人がやらないこと」とは？
 - 市場価値に換算できないからビジネス化しない領域？
 - ボランティアな活動だけでは労力的に賄えない領域？
 - 喪失するリスク、変化のリスクに誰も気が付いていないが共有している社会の変化？

- どこまで代替、業務軽減できてる？
- 逆に仕事が増えたりしてない？
- DX導入の目的をどう整理してる？通じてる？

ブルシットジョブの撲滅

- 「まちづくり」はクリエイティブで、人間がやる意味のある仕事。そういうところにやりがいがある人が自治体職員になるにはどうしたらいい？

誰と働くか



行政のブランディングはなぜウケない？

自治体職員向け 関東EPOローカルパートナーシップ WEBミーティング

2/19 Mon.

18:00-20:00

トークテーマ

SDGs、脱炭素、ネイチャーポジティブ...

今までのやり方ではどうにもならない無理難題を前に、

これまでのやり方に限界を感じているあなたと、あえて今、真剣に考えたい

参加費：無料

「今求められる自治体の役割って、何？」

対象者

関東ブロック※に所在する地方自治体職員ならどなたでも参加可能

※東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・栃木県・茨城県・群馬県・新潟県・山梨県・静岡県

主な内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ 関東EPO自治体研究まとめ報告
- ・ テーマに沿って雑談
- ・ 放課後タイム 等...